

社会福祉法人 やまなみ会

平成 29 年度 事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日

障害者支援施設 阿蘇くんわの里

多機能事業所 阿蘇くんわの里

平成 29 年度 事業計画書 構成

1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 2
2. やまなみ会 理念	・ ・ ・ ・ ・ 3
3. 経営方針	・ ・ ・ ・ ・ 4
4. 各部門計画	・ ・ ・ ・ ・ 5
5. 各部門計画 (多機能事業所)	・ ・ ・ 8
6. 各部門計画 (障害者支援施設)	・ ・ 9
7. 各部門計画 (医務)	・ ・ ・ ・ 11
8. 各部門計画 (給食)	・ ・ ・ ・ 15

1. はじめに

平成 29 年 4 月 1 日から社会福祉法人制度の改正が施行され、内容としても①経営組織の在り方の見直し②事業運営の透明化の向上③財務規律の強化④地域における公益的な取組を実施する責務の規定⑤内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下⑥行政の関与の在り方等上げられており、既存法人にも大きく影響されるものと考えられます。

阿蘇くんわの里に於きましても職員の資質の向上を目指し、施設内外の研修に参加し、会議等で情報の共有化に努めてきました。29 年度はやまなみ会職員として社会福祉法人やまなみ会の事業活動、阿蘇くんわの里の役割と各事業における支援の目的等を全員が熟知し、今後も新たな職員の人材確保・育成及び現職員のスキル向上の必要性はもちろんのこと、それに加えて入所施設の整備（風呂場の改修工事・西玄関の改修工事）を行うことで職員負担を軽減し、利用者に対し更に質の良いサービスの提供と職員が働き易い場の提供ができる様、環境の整備に努めます。

2. 社会福祉法人 やまなみ会

《理念》

「共に支え、共に生きる」

- 1.人間として尊重される施設
- 2.生きがいがある施設
- 3.地域での生活が保障できる施設
- 4.相互に支えあい連携できる施設
- 5.健やかでやすらぎがある施設

やまなみ会の基本理念、10の経営原則、16の行動指針に基づき公共性、公益性、信頼の高い施設運営を行っていく。施設運営にあたっては、社会情勢や時代の変化に応じた活動を行うと共に利用者の尊厳を尊重した利用者主体、自己決定により、利用者一人ひとりのニーズを的確に捉えた福祉サービス提供に努める。また、効果的で効率性の高い経営を目指し、経営基盤の強化を図り、良質の福祉サービスを安定して提供します。

阿蘇くんわの里 基本方針

- | | |
|----------|--|
| 1 生命の尊厳 | 利用者一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。 |
| 1 利用者主体 | 利用者の個性を重んじ、主体性・可能性を尊びます。 |
| 1 人権尊重 | 利用者に対するいかなる差別・虐待・人権尊重も許さず、人としての権利を尊重します。 |
| 1 社会参加 | 利用者が一市民として、社会生活できるように支援します。 |
| 1 働く喜び | 利用者が生産を通じて勤労の喜びを実感できるよう支援します。 |
| 1 経営の効率化 | 利用者の安定した生活が継続できるよう、効率的な経営を |

目指します。

3. 経営方針

1、利用者満足度の向上

◎「暮らす、働く」のサポート

利用者が充実したライフステージ・スタイルに応じた自立生活をおくる為に必要な「暮らし、働く」支援体制の充実。また、老朽化が進む施設の改修工事（特に風呂場の改修工事・西側玄関の改修工事）を進め安全かつ安心できる設備の構築に努める。

◎利用者優先の対応

常に利用者主体の立場に立った行動に心がけ迅速、適切、丁寧な対応で福祉サービス提供に努める。

具体的な取り組み

① 利用者の年齢、障害程度及びライフスタイルに応じた支援充実を図る為、支援体制の見直し、強化に取り組む。支援の評価については、利用者による満足度チェックを行い、具体的に目標を設定する。

②老朽化の進む施設の改修工事

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 風呂場の改修工事 | 平成 29 年度整備予定 |
| 2. 西側玄関の改修工事 | 平成 29 年度整備予定 |

2、職員の資質向上

◎人材育成の充実

障害者福祉を担うプロとしての、「専門性、組織性、社会性」を育成することで利用者・ご家族より、信頼され、変化する時代に沿った質の高い福祉サービスを提供できる職員を育成する。また、施設の業務や経営において、中核となれる人材の育成に取り組む。接遇、言葉遣い、勤務態度及び積極的な取組み等利用者・家族、地域住民の方から高評価を頂けるよう職員それぞれが自己研鑽を行う環境づくりを目指す。

◎専門性の向上

利用者の多様なニーズに対応できるよう「OJT、研修、自己研鑽」等を充実させ常に職員

の専門性向上に努め、利用者ニーズに沿った支援提供に努める。また、28年度同様、資格の取得を推進していく。

具体的な取り組み

- ① 利用者やご家族の多様化するニーズに対応できるよう、スキルアップを図るため、「知

	施設内			施設外
4月	運営会議	職員会議	支援会議	
5月	運営会議	職員会議	支援会議	ビジネスマナー研修 ビジネスマナー指導養成研修
6月	運営会議	職員会議	支援会議	新任職員研修 カウンセリング研修（基礎編）
7月	運営会議	職員会議	支援会議	
8月	運営会議	職員会議	支援会議	九州授産施設研究大会（セルフ） スーパーバイザー養成研修会
9月	運営会議	職員会議	支援会議	
10月	運営会議	職員会議	支援会議	
11月	運営会議	職員会議	支援会議	中堅職員研修会
12月	運営会議	職員会議	支援会議	指導者職員研修会
1月	運営会議	職員会議	支援会議	相談面接技術研修会
2月	運営会議	職員会議	支援会議	
3月	運営会議	職員会議	支援会議	福祉サービス苦情解決研修会

識・技術修得の研修、自己研鑽、OJT」等を充実させ各セクションにリーダーを配置し専門性の向上を目指す。

（研修の実施）

- ② 職員が働きやすい、やりがいを持っていきいきと働ける組織体制の充実を図る。
（年2回人事考課）

《会議・研修予定表》

3、経営の安定化、適正化

◎組織体制の充実

職員個々の職務権限や役割を明確化し、組織的に事業を推進できる実効性の高い組織体制づくりに取り組む。

◎財務基盤の安定

施設経営にあたっては、業務効率を高め収益の確保を図り職員のコスト意識を高め適正な収益を確保し安定的な財務基盤の確立を目指し取り組む。

具体的な取り組み

- ① 職員個々の職務権限や役割を具体化、明確化し組織的に事業を推進できる効率性・実効性の高い組織体制を充実する。
- ② 安定的な事業活動の継続、新たな事業展開が可能となるよう、収益性を高める。
 - ・日中系事業の利用率・・・・・・・・・・平成 29 年度までに 95%
 - ・就労支援事業の収入対比収支差額率・・平成 29 年度までに 10%
 - ・くんわの里の収入対比収支差額率・・平成 29 年度までに 10%
- ③ 各事業部署において、目標数値を設定し支出費用の削減に取り組む

○今後の課題

- 利用者の高齢化が進み、施設入所支援事業においては平均 50.7 歳となっている。重度化、能力低下した利用者へのより一層の支援充実に努めなければならない。
- 精神障害者の増加している現状を鑑み、障害者の特性と個々の支援方法を探り、心身の安定に向けた支援を行っていく。
- 満足いただける福祉サービス提供のため、建屋の補修、設備の改修、また、その財源確保に努めなければならない。
- 現在、見直される法律及び制度の変化・多様化するニーズに合わせた福祉サービス提供をするにあたり、専門知識を持った職員育成の強化に努めなければならない。

4. 各部門計画

個別支援計画の重視

- 十分なアセスメントに基づいたニーズの聞き出しを行い、家族や周囲の状況を踏まえ個別支援計画、施設入所支援実施計画を作成。
- 支援会議、必要に応じた個別検討会で、専門職を含む複数の職員での検討を行いその内容や結果については全職員の周知徹底を図る。
- モニタリングや必要に応じた再アセスメントを行い、利用者のニーズを確認しサービスの質の向上を目指す。

地域福祉の推進

- 特別支援学校、在宅障害者やその家族の自立・就労支援（職場体験実習など）相談などの受入れを行い、障害福祉サービスの地域の核となるよう努める。
- 中学、高校生徒の職場体験実習、福祉体験実習の受入れを行い、福祉サービスや障害者の理解啓発に努める。
- 福祉系学校の実践実習の受入れを行い、福祉の担い手の育成に努める。
- 障害者短期入所支援事業の利用により、障害者の家族のレスパイトのニーズに応える。

個人情報の保護

- 当事業所で知りえた個人情報は、サービス利用目的の範囲内で行い、その範囲を超えて使用しない。
- 業務を遂行するにあたり、個人情報を第三者に提供する場合、原則として本人若しくは家族の同意を得て提供を行なう。
- 情報の管理、取り扱いについては、適切かつ厳重に行なう。

多機能事業所 事業計画

《就労移行支援事業（定員 10 名）》

就労支援では、就労支援員を配置し、地域での職場実習の開拓や確保、ハローワークなどの関係機関と連携を図り、求職活動の支援や職場開拓に努める。また、職場定着のための支援などを行う。

今年度は利用者のニーズに合った職場の開拓及び就労支援が提供できるよう努める。

《就労継続支援事業B型（定員 29 名）》

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労・生産活動の働く場を提供する。自主生産・下請作業を安定させることで年間を通しての生産力向上を図り平均工賃 28,000 円を目指す。また作業標準表を作成し、職員及び利用者が効率的に、また誰でも何時でも作業に取り組み、製品の質の向上を目指すものとする。

自主生産・営業（馬油関係）

新規顧客及びリピーターも年々増加傾向にあり、OEMを含めた大口の注文依頼も増えてきている。また、新商品の開発に力を注ぎ、年間を通じて安定した収入が確保できるように業務の見直しを含む改善を図る。そういうニーズに対応できる新規工場の設備投資に努め、大口依頼に対応できるようにしていく。また、作業標準書を作成した上で職員皆が馬油製品の製造に参加できるように職員の育成に努める。

営業に於いては新規店舗を含めると 100 店舗を超え、今後は大口の販売店舗及び顧客の獲得ができるよう努めていく。さらに販売会・イベント等にも積極的に参加し幅広く馬油製品及び事業所の宣伝を行っていききたい。

下請け

災害や季節に関する受注の落ち込みを極力減らし、新規の作業開拓を行うと共に年間を通じて安定した作業提供・売上の確保が見込めるよう努める。更にゴマ作業やタオル作業の納期のサイクルを早めることでより多くの受注が受けられる様工程の見直し、効率性の向上を図る。

縫製及び実習

災害によりなくなった作業や実習先があったが、営業活動を行って以前行っていた内容同等の作業種の確保ができた。今後は、業者との信頼関係を深め、更なる作業種の確保に努めると共により利用者が働き易い環境の構築を目指す。

障害者支援施設 事業計画

《生活訓練事業（定員 10 名）》

一定の期間（原則 2 年以内）を通じて生活リズムや身なり・集中力の向上など様々な生活に必要な事柄を積み重ね一人ひとりが納得のいく生活能力を身につけるための練習を行う。

本人の目標は就労継続支援事業 B 型での作業に少しでも早く移行できる様支援を行っていく。

- ①作業中は落ち着いた精神状態を保つことができるようにする。
- ②一つ一つの作業を丁寧に行う。
- ③作品がイベント等で販売できるように仕上げる。
- ④毎日楽しく作業の取り組むことができるようにする。

《生活介護事業（定員 30 名）》

昨年度は新規利用者を 2 名獲得したことで 39 名の登録者数となっている為、29 年度定員を 10 名増やし、安定した利用率の向上を目指していく。その中で、生活面の介護が常時必要な利用者、精神症状の変化に合わせた対応が必要な利用者、今後就労系の事業に変更を希望している利用者、就労系からの介護利用希望者とニーズがあり、個々の思いに対応できる様に支援体制を確立していきたい。

○自立生活・衛生面の支援

- ・入浴、歯磨き、手洗い、髭剃り、爪切りなどの衛生面の把握とそれに伴った支援を行っていく。
- ・居室の衣類、布団等の整理整頓を行い、生活しやすい環境を整える。
- ・精神疾患・内外的な疾病などの把握をするため、朝、入浴時等を用いて早期発見及び対応に努める。
- ・季節や天気、気温に応じた衣類の着用や調整の支援を健康状態にあわせて行っていく。

○作業支援と余暇活動支援

- ・持続性と意欲の向上を目指し、生きがい、やりがいと将来への希望と安心を持っていただけるよう努める。

具体的な取り組み

- ・入浴拒否がなるべくない様、声掛けの徹底及びチェックシートの活用していく。
- ・居室の整理や衣替えを利用者と一緒に行っていく。
- ・運動能力の維持・向上を目指すため、天気をみながら散歩や運動を計画していく。

- ・山羊等の飼育を通じて、心身の安定と役割、また地域との触れ合いを築いていく。

○相談支援

入所生活や健康状態・家族の事など利用者が持つ様々な不安点、疑問点または将来の事などの相談に応じ、適切な助言・支援を行い、信頼関係の構築に努める。

○短期入所

居宅において、介護をする者の疾病、息抜き、その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者に利用して頂き、入浴排泄及び食事等の必要な支援を行う。

生活介護年間行事予定 (行事・支援)

	行事		支援強化月間
4月	花見	4月	居室整理整頓 オゾン除菌
5月	バーベキュー ハイキング	5月	布団干し オゾン除菌
6月	外出(こいのぼり)	6月	衣替え オゾン除菌
7月	七夕 夏祭り	7月	布団干し オゾン除菌
8月	バーベキュー	8月	居室整理整頓 オゾン除菌
9月	コスモス見学	9月	布団干し オゾン除菌
10月	利用者旅行	10月	衣替え オゾン除菌
11月	ドライブ	11月	オゾン除菌
12月	もちつき大会 クリスマス会	12月	居室整理整頓 オゾン除菌
1月	外出(初詣) どんどや	1月	オゾン除菌
2月	豆まき	2月	居室整理整頓 オゾン除菌
3月	ハイキング	3月	オゾン除菌

医務年間計画

I. 基本方針

1) 体力の増進及び衛生管理の意識向上を図り、自主健康管理が出来るよう努める

2) 援助目標…疾病の予防を図り心身の健康づくり

糖尿病：甘いもの・間食控える・カロリー制限

腎臓病：水分・塩分制限

心臓病：水分・塩分制限 両下肢挙上

3) 保健管理の実施

① 健康診断

・ 定期健康診断（2回／年）

・ GH・通所利用者は任意とし実費負担とする

・ 市内の健康診断に進んで参加する（胃がん・乳がん・子宮がん）

・ 検診の結果異常の認められた者は、速やかに精密検査を実施する

② 服薬者の健康状態把握

・ 定期服薬者（入所利用者）は定期受診を1ヶ月/2ヶ月に1回行う

・ 長期服薬者の中で自己管理の出来る人へ服薬の必要性を説明し病識を持たせる

・ 職員にも疾病に対し理解を深めると共に服薬マニュアル通りできる支援体制の構築、確立

・ 入浴時や起床時には身体の異常がないかの確認を必ず行い、早期発見に努める

③ 利用者の病院受診に関しては本人の希望を優先し迅速な対応に努める。また、慢性疾患をもつ利用者には定期的な病院受診とそれに伴った付き添い送迎支援病状に応じ家族への連絡と調理員への連携した支援を行う

4) 健康観察

・ 日常生活において健康は不可欠であり、その事を十分に理解した上で観察が日課として終わる事のないように注意する

・ 夜勤者の申し送りと担当者の健康観察により、異変者の把握を行う事が出来るよう毎日の情報収集を適切に申し送り、即対応していく。又夜勤者へもつながるよう努める

5) 身体測定

・ 毎月行う（但し身長は4月 年1回）

6) 感染予防

・ 施設内感染予防（ノロウイルス、インフルエンザ）の為、各居室出入りに手指消毒を設置する

・ 日光消毒、布団類や下着類は日光に当て干すようにする

- ・ 各部屋の空気入れ替え(換気)、部屋の消毒(ダニ・蚊)
- ・ 布団や衣類、室内は湿気のないように気をつける
- ・ ハンカチやタオル、マスクは自分の物を使用する(感染予防の為)
- ・ 浴室、脱衣場は天気の良い日には窓を開けて空気の入替えを行う
- ・ オゾン除菌・脱臭機にて園内の消毒の実施(毎週3回順次実施)

医務年間計画表

月	保健行事	保健支援内容
4月	身体測定 (身長・体重・血圧・脈拍) 各医療機関への定期受診 オゾン除菌・脱臭の実施	1 衛生意識の向上・習慣化 2 服薬者の健康状態把握 3 自分の健康状態を知る(病識の普及) 4 歯磨き支援(口腔衛生)
5月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 職員健康診断(年1回) 各医療機関への定期受診 オゾン除菌・脱臭の実施	1 食中毒の予防(手足の消毒) 2 服薬者の健康状態把握 3 問診・聴打診・検尿 4 衛生意識の向上・習慣化 5 歯磨き支援(口腔衛生)
6月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 利用者健康診断 (検尿・採血・胸部X線・問診) 各医療機関への定期受診	1 口腔衛生・正しい歯の磨き方 2 身体の清潔・衣類の清潔 3 部屋の換気・布団の清潔(洗濯、日光干し) 4 衛生意識の向上・習慣化 5 歯磨き支援(口腔衛生)
	食中毒予防 食中毒(0-157)予防・水虫予防 オゾン除菌・脱臭の実施	手洗い施行(手足の消毒) 足浴・風呂場マット交換をこまめに行う 靴洗いの呼びかけ 食中毒に関するマニュアルの見直し・研修会の実施
7月	身体測定(体重・血圧・脈拍) オゾン除菌・脱臭の実施 各医療機関への定期受診	1 食中毒予防・皮膚病予防 2 伝染病予防・布団干し 3 衛生意識の向上と習慣化 4 服薬者の健康状態把握 5 歯磨き支援(口腔衛生) (歯科衛生士による指導)
		うがいと手洗いの施行 発汗後の対応(風邪予防) 室温調整(エアコン・換気)

8月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 暑中の健康管理 日射病予防 オゾン除菌・脱臭の実施 各医療機関への定期受診	1 クールビズなど着衣の工夫 2 日中帽子の着用(直射日光を避ける) 十分な水分補給, 栄養と睡眠, 規則正しい生活 3 衛生意識の向上と習慣化 4 盆帰省後の体調・情緒の安定に努める 5 歯磨き支援 (口腔衛生)
		夏ばて防止 帽子・木陰の利用 (直射日光を避ける) 皮膚病予防・熱中症予防に関するマニュアルの見直し・研修会の実施
9月	身体測定(体重・血圧・脈拍) オゾン除菌・脱臭の実施 各医療機関への定期受診	1 皮膚病予防・日射病予防・熱中症予防 2 布団干し (ダニの予防) 3 衛生意識の向上と習慣化
10月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 各医療機関への定期受診 オゾン除菌・脱臭の実施 阿蘇市住民検診 (胃がん・乳がん・子宮がん) きずな歯科検診	1 風邪の予防対策・食中毒予防 2 健康観察 (職員・利用者) 3 衛生意識の向上と習慣化 4 歯磨き支援 (口腔衛生)
	目の愛護デー	不潔なタオルを使用しない 不潔な手で目を触らない
11月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 各医療機関への定期受診 インフルエンザ予防接種	1 風邪の予防対策 (うがい・手洗い・マスクの使用強化) 2 衛生意識の向上と習慣化 3 歯磨き支援 (口腔衛生) 4 室温調整 (換気・適度な湿度)
	風邪予防 (インフルエンザ)・ノロウイルス予防 オゾン除菌・脱臭の実施	栄養補給と早めの休養 インフルエンザ・ノロウイルス予防に関するマニュアルの見直し・研修会の実施
12月	身体測定(体重・血圧・脈拍) オゾン除菌・脱臭の実施 各医療機関への定期受診 風邪予防・ノロウイルス予防	1 風邪の予防対策 (うがい・手洗い・マスク使用の強化) 2 衛生意識の向上と習慣化 3 歯磨き支援 (口腔衛生)

1月	身体測定(体重・血圧・脈拍) オゾン除菌・脱臭の実施 各医療機関への定期受診	1 風邪の予防対策 (うがい・手洗い・マスク使用の強化) 2 室内乾燥の防止 3 歯磨き支援 (口腔衛生) 4 衛生意識の向上と習慣化 5 正月帰省後の体調・情緒の安定に努める
2月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 各医療機関への定期受診 オゾン除菌・脱臭の実施	1 風邪の予防対策 (うがい・手洗い・マスク使用の強化) 2 衛生意識の向上と習慣化 3 各医療機関への定期受診 4 室温調整(換気・適度な湿度)
3月	身体測定(体重・血圧・脈拍) 高森歯科検診 各医療機関への定期受診 オゾン除菌・脱臭の実施	1 風邪の予防対策 (うがい・手洗い・マスク使用の) 2 衛生意識の向上と習慣化 3 歯磨き支援 (口腔衛生)

<年間の観察事項>

—利用者全員—

毎日の健康管理に気を配り情緒の安定・排便・睡眠・食欲等の観察を行っていく。異常を発見した場合、速やかな対応・処置を行い、利用者の健康の維持・増進に努める。月間の保健目標に沿った健康管理を行うとともに、その月以外でも臨機応変に対応する。

—服薬者—

日常の観察において、副作用の出現はないか、また排便状態・睡眠状態・食欲などを把握し主治医との連絡・調整を行い症状(急変時)や病態の軽減を図り、より良いADL・QOLの向上に努める

<清潔面において>

天気の良い日には、布団や衣類を干し日光に当て皮膚病の予防に努める

浴室の衛生面として入浴後は乾燥・換気を行いカビ等の増殖を防ぐ

(マット等も天気の良い日には干す)

口腔ケア(ブラッシング)の呼び掛け・援助を行い口腔内の清潔に努める。また向精神薬等の副作用において歯肉炎を引き起こしやすいため、個々に合ったブラッシングを支援

衣類や靴下・靴などの清潔を図るため、こまめに洗濯や靴洗いの実施

帰設後のうがいや手洗いを定着させ自己防衛・集団感染を防ぐ

アレルギー体質改善への取り組み：皮膚を清潔に保つ

給食年間計画

①重点目標

- ・利用者の健康の維持・増進を図る食事の提供
- ・季節を意識した献立の作成に努める
- ・エネルギー制限、塩分控えめの食事、咀嚼、嚥下状況に応じた刻み食など、利用者一人ひとりに対応した食事の提供の徹底
- ・嗜好調査と給食委員会の定期的な開催により、利用者の嗜好・要望の把握、献立への反映、利用者の食事状況の周知を図る

②数値目標

(28年度)

- ・嗜好調査において満足度調査を実施（年／2回）
- ・嗜好調査時、現在の食事に満足しているかという質問を設け、5段階（満足、少し満足、ふつう、少し不満、不満）で評価して頂いた。回答において満足、少し満足、ふつうの方々が全体の89%であった。（2回平均）

(29年度)

- ・嗜好調査を基に献立に反映させ、満足度95%以上を目指す。

具体的な取り組み

1. 大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理の徹底
（残留塩素濃度測定（2回／日）、検収、検便、手洗い、消毒、清掃等）
2. 食品微生物拭き取り検査の実施（3回／年）
3. 個別対応の実施及び周知徹底
（お粥、刻み、マンナンヒカリ入りご飯、カロリー制限、塩分控えめ等）
4. 嗜好調査（6月、12月）
5. バイキング式の昼食（2回／年）

年間スケジュール（予定）

	施設行事	給食イベント・季節食	衛生・安全管理
4月	設立記念日 花見	設立記念メニュー	検便 給食委員会
5月		バーベキュー（G.W）	検便
6月		バイキング お好み焼き	検便 嗜好調査
7月	くんわ祭り	そうめん流し 土用の丑	検便
8月		バーベキュー（お盆）	検便
9月		秋刀魚炭火焼き	検便
10月		秋の味覚 （栗飯、キノコ汁）	検便 給食委員会
11月		バイキング 焼き芋	検便
12月	もちつき	クリスマス 年越しそば	検便 嗜好調査
1月	どんどや	おせち 七草粥	検便
2月		恵方巻き	検便
3月		チラシ寿司 ぜんざい	検便